

## ○涅槃会に参加した生徒の感想



### 3年 T.Iさん

植野校長先生ご講話ありがとうございました。

諸行無常のお話がありました。この世の全てのものは変わりゆくものというのは、物質だけではなく概念や物事も同じだと思います。例として、北京オリンピックのアスリートやウサギとカメの話が出ていましたが、考え方として「諸行無常」でまとめる事ができると学びました。気に病んでも仕方がない事や悩み事も、基本的には時間が解決してくれる事が多いです。私もどうしても無い不安や問題を抱えた時は、切り替えて時間が過ぎるのを待つようにしています。また、思っているよりも人は他人に興味がないと思っています。故に、他人に気をかける事や助ける事は簡単ではありません。どんな人であれ、出会った人はご縁があります。結果的には必ず過ぎ去ってゆくものではあると思いますが、今を生き、今を大事にして過ごしたいと思いました。

### 3年 W.Rさん

お釈迦様が入滅する前に説かれた「もろもろの存在は変わりゆく。怠らず精進しなさい。」という話があります。「もろもろの存在は変わりゆく」は諸行無常を意味しています。私は不変の物や事があるか考えてみましたが、見つかりませんでした。コロナウイルスが流行り始めの頃、脅威でしかなかったと思います。そのため、緊急事態宣言が発令されました。しかし今では慣れてきている部分があると思います。今不変だと思っている事は今だけであり、今後のことは誰にも分からないので考え深いと思いました。

ウサギとカメの話では、競争後のウサギに焦点を当てていました。ウサギはカメを讃えることができるのかについて、私がウサギの立場だった場合、相手を讃えるのではなく、自分を罵ると思います。自分が招いたミスであることを自覚することが大切です。

### 3年 A.Tさん

「諸行無常」という言葉には、マイナスなイメージだけではなく良いイメージを持つこともできると伺いました。私は諸行無常のとは仏教でどういうニュアンスで捉えられているのか分からなかったので、「時が流れ続けるから努力しなさい」という言葉にあまり疑問を持ちませんでした。校長先生曰く、諸行無常という言葉によって「努力ではなく人それぞれのペースで生きなさい」の方がニュアンス的には当てはまっているそうです。では一体、「諸行無常」とは何なのでしょう。涅槃会で話していた通り、「世のすべてのものは移り変わり、また生まれては消滅する運命を繰り返し、永遠に変わらないものはないということ」になります。ですが、もう一押ししなければ完璧な諸行無常とは言えません。「人生は儚く、虚むなしのものであるということ」を付け足してやっと諸行無常という意味を発揮します。この意味合いだとそれぞれが自分のペースで生きるべきである言われた方がしっくりくると思いました。ウサギとカメの話でもあるように、カメを批判するのか、ウサギが悪いと決めつけカメを称賛することができるのか、考え方や想像の仕方、捉え方は人それぞれにあります。同じ行事を三回も行っているのに得られるものは毎回変わってきます。学校で行われる涅槃会は最後になりました。今までもこれからも今という時間は二度と訪れないのでどう時間を使うか未来にどう生かしていこうか考えることをやめないように今を生きようと思いました。